

外国語活動学習指導案

日 時 平成28年10月6日(木) 5校時

場 所 白糠町立庶路小学校6年

授業者

1. 単元名 Let's go to Italy. 友達を旅行に誘おう (Hi, friends! 2 Lesson5)

2. 単元について

(1)単元のねらい

本単元は学習指導要領「外国語活動」の内容1「主としてコミュニケーションに関する事項」の指導内容(1)「外国語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験すること」に基づいて、伝え合うことの楽しさを実感するために設定した。

メディアが発達し、世界のニュースや状況をリアルタイムで知ることが出来るようになった今、海外のことが取り上げられることが増え、児童にとっても世界が身近になったといえる。また他教科の授業においても、様々な国について学習しており、心の中では「この国に行ってみよう」と感じている児童もいることだろう。こうした興味・関心を持ち始めた状況の中、児童の知的好奇心を揺さぶり、知っている言葉や新しく出会った言葉をゲーム的な言語活動を通して慣れ親しませていくことで、目的意識をもって楽しみながら英語を使い、自信を持つことができたかと願っている。

Let's go to ～. や Where do you want to go? I want to go to ～. などの表現に慣れ親しみ、単元の終末では、慣れ親しんだ表現を用いて、互いのおすすめの国やその国の名所や文化、有名なものを友達と紹介し合う活動を行う。

この活動を通して、注意深く相手の思いを理解しようとしたり、他者に対して自分の思いを伝えたりすることの楽しさを実感し、英語によるコミュニケーションの大切さに気付かせるとともに、世界には日本と違う生活や文化、言語があることに気付き、世界に興味をもってほしいと考えている。

本単元で用いる表現は、中学校第1学年での「Let's」を使った文を学習する単元(Lesson5 中華街に行こう)、「where」を扱う単元(Lesson6 外国の学校と日本の学校)、「can」を扱う単元(Lesson7 マンガ大好き)【ONE WORLD ENGLISH COURSE 1 教育出版】や「want to」を使った文を学習する Hi, friends! 2 Lesson 9 や中学校第2学年での(Lesson 5 Halloween Party)へとつながっていく。

(2)児童の実態

低学年から、英語・中国語に慣れ親しみ、身近な単語や簡単な会話表現を聞き取って発音したり、友達との交流活動をしたりという学習を意欲的に行っている。

しかし、興味を持ってもっと知りたい、話したいと思う児童がいる一方で、何を言っているのか、何を話せばよいのかわからないという児童もおり、個々の学力の差は大きい。また、会話表現が長くなると、難しいと感じてしまう児童も多い。

外国語活動のアクティビティには活発に参加する傾向があり、アクティビティを通して単語や会話の表現を使えるようになっていく姿も見られる。文字から発音につなげる力も少しずつついてきているので、単語・会話表現を黒板に書いておくことで、友達との交流時のヒントにする児童が多い。

3. 単元の目標

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

自分の思いがはっきりと伝わるように、おすすめの国について紹介したり、友達の紹介を反応しながら聞いたりしようとする。

【外国語の音声や基本的な表現への慣れ親しみ】

国名の言い方や、おすすめの国とその理由を紹介する表現に慣れ親しむ。

【言語や文化についての気付き】

国旗の特徴や国名の言い方の違いに気付き、世界の国々の食べ物や特色について興味を持っている。

4. 本単元の言語活動について

外国語活動における言語活動とは「コミュニケーションを図る楽しさを体験することを目的として、身近な外国語に慣れ親しんだり、伝え方を工夫したりする活動」と広義にとらえ、本単元においてはコミュニケーション活動と同等の意味でとらえることとする。

相手を意識したコミュニケーション活動になること念頭におき、単元終末時の児童の姿を想定した上で単元構成することは言語活動の充実において重要なことであると考えている。「まねる→慣れる→自分のものにする→使う」という段階を経た言語活動を組み立てていくことで、「外国語や音声や表現に慣れ親しむ活動」から「コミュニケーションを図る楽しさを体感する活動」に発展させていきたいと考えている。

5. 単元の指導計画（4時間扱い）

時	目 標 と 主 な 活 動	評 価		◇具体的な評価規準 【評価方法】
		コ 慣	気	
1 本 時	○国旗を見て、言い方に違いに気をつけながらその国名を英語で言うことができる。 ・ ミッシングゲーム ・ キーワードゲーム ・ 世界一周すごろく Let's go to ~. Nice country, let's go. Next time.	◎	○	◇国名の言い方の違いに気をつけながら、活動の中で活用している。 【行動観察】 【振り返りカード】
2	○行きたい国について尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しむ。 ・ 国名ステレオゲーム ・ カード交換ゲーム Where do you want to go ~?- I want to go to ~.	○	◎	◇行きたい国を尋ねたり、答えたりする表現を使っている。 【行動観察】 【振り返りカード】

3	<p>○行きたい国について、その理由やしたいことを考え、英語で表現する。</p> <p>・ラッキーカードゲーム ・紹介カードづくり</p> <p>I want to go to ～. I want to see(eat) ～.</p>		<p>◇おおすすめの国についてその理由を考え、言い表している。</p> <p>【行動観察】</p> <p>【振り返りカード】</p>
4	<p>○自分の思いが伝わるよう、積極的におすすめの国を紹介したり、友達の発表を聞いたりする。</p> <p>・おおすすめの国を紹介し合う活動</p> <p>Where do you want to go ～?</p> <p>- I want to go to ～. I want to see(eat) ～.</p> <p>Nice country,let's go.</p>	◎	<p>◇自分の思いが伝わるよう工夫して、おおすすめの国について積極的に発表したり、友達の発表を聞いたりしている。</p> <p>【行動観察】</p> <p>【振り返りカード】</p>

6. 本時について

(1)本時の目標

【外国語の音声や基本的な表現への慣れ親しみ】

◎学んだ英語を、活動の中で繰り返し活用している。

【言語や文化に関する気づき】

○国旗を見て、言い方の違いに気をつけながら、その国名を英語で言うことができる。

(2)本時における『言語活動』

本時は単元全体の導入の時間として、「触れる」「慣れる」ための言語活動としてゲーム、すごろくなどの活動を設定する。

(3)本時の展開（1/4時間目）

	学 習 活 動	教 師 の 働 き か け	留意点・ 評価 *期待する姿
導 入	<p>1. あいさつをする。</p> <p>2. 行ってみたい国について出し合う。</p> <p>3. 本時の学習課題をつかむ。</p>	<p>○全体にあいさつをし、個別に数名の児童にあいさつする。</p> <p>○行きたい国や興味をもっている国について、その理由も含めて尋ねる。</p> <p>・世界地図でその場所を示す。</p> <p>・単元全体の目標の提示として HRT,ALT と英語で問答する。</p> <p>○学習課題を板書する。</p>	<p>・世界地図を使用する。</p> <p>・L5 のゴールとなるやりとりであることを紹介する。</p>
	世界の国々の名前を英語で言ってみよう		

展 開	4. 日本語で10カ国の国名を確認する。	○ Hi, friends! 2 PP18～19の()に日本語で答えを書くよう指示する。	・ ヒントとして有名な場所や食べ物を提示する。
	5. Let's Play ①で英語の音声を聞き、言い方の違いに気付く。	○ 国旗を見て英語での言い方に気をつけながら繰り返して発音するよう促す。	・ 国旗カードを使用する。 気づき * 日本語での言い方に似ているものと、大きく異なるがあることに注目して発音している。(行動観察)
	6. キーワードゲームを行う。	○ キーワードとなる国を提示し、国名の発音を繰り返しながら、キーワードを発音したときのみ、繰り返さず消しゴムをとるよう指示する。	・ ペア活動とする。 慣れ親しみ * 6~8の活動において、国旗が示す国名を自信をもって繰り返して発音している。(行動観察)
開	7. ミッシングゲームを行う。 What's missing? - It's ~.	○ 隠された国旗カードの国名を英語で答える。	・ 隠すカードの枚数を増やしていく。
	8. 世界一周すごろくを行う。 Let's go to ~. - Nice country, let's go. - Next time.	○ すごろくのやりかたを HRT, ALT とともに実演しながら説明する。 ○ ここまで扱わなかった国も発展学習としてすごろくの中で活用するよう促す。 ○ 机間支援を行う。	・ 3～4人グループで行う。 ・ すごろく用紙、サイコロを準備する。
整 理	9. 本時の学習を振り返る。 ・ 振り返りカードに記入する。 10. あいさつする。	○ 感想を発表させ、次時に行きたい国を尋ねたり答えたりする言い方について学習することを予告する。	・ 振り返りカードを配布する。

7. 振り返りカード

自己評価	第1時	第2時	第3時	第4時
積極的に友達と英語を話そうとした				
学習した英語をたくさん使って活動できた				
世界のことに興味を持つことができた				

A:よくできた B:できた C:あまりできなかった

感想 (気づいたこと、わかったこと、できるようになったこと、などなど)
世界の国々の名前を英語で言ってみよう

第 1 時	
第 2 時	行きたい国についてたずねたり答えたりしよう
第 3 時	行きたい国についてその理由も含めて言ってみよう
第 4 時	おすすめの国とその理由を紹介し合おう

8. 資料（世界一周すごろくシート）

Let's Go Around the World!

How to play
やり方

- 1 スタート地点の日本に自分の消しゴムを置きます。
- 2 自分の順番が来たら、進む国を決め、Let's go to 国名と言って、サイコロをふります。
- 3 その国に進むためには、サイコロの目の数以上でなければ進むことができません。
- 4 Japan に戻ったら1ポイント。まずは全員が世界1周を目指し、さらに通り過ぎて2周目、3周目を目指しましょう。

サイコロを投げる順番は？
○じゃんけんでいちばん勝った人の、時計回りでサイコロを投げます。

